

# INFORMATION



## 「ロレアル-ユネスコ女性科学者 日本奨励賞」

### 2006年度 第1回「ロレアル-ユネスコ女性科学者 日本奨励賞」受賞者3名決定

世界最大の化粧品会社ロレアルグループ（本社：パリ）の日本人である日本ロレアル株式会社（本社：東京都 新宿区、代表取締役社長：ピエール-イヴ・アルゼル）は、2006年度 第1回「ロレアル-ユネスコ女性科学者 日本奨励賞」の受賞者を、物質科学分野から1名、生命科学分野から2名決定し、2006年7月13日、日本工業倶楽部会館（東京）で発表および授賞式を行いました。

「ロレアル-ユネスコ女性科学者 日本奨励賞」は、日本ロレアルが2005年11月に、日本ユネスコ国内委員会との協力のもと、日本の若手女性科学者が、国内の教育・研究機関で研究活動を継続できるよう奨励することを目的として創設しました。対象者は、物質科学、生命科学の分野で、博士課程（後期課程）または、博士課程に進学する予定の女性科学者で、各分野1名ずつ受賞者を選考し、それぞれに賞状と奨学金100万円が贈られます。

なお、今回、特例として生命科学分野では、2名の授賞となりました。

審査は、米沢富美子（慶應義塾大学名誉教授）を委員長、郷 通子（お茶の水女子大学学長）を副委員長とする、両分野の権威9名で構成される選考委員会が、研究内容、専門知識、着想力など、日本の未来を担う女性科学者としての可能性を総合的に評価しました。

第1回受賞者は以下の3名です。（詳細は、日本ロレアルホームページ <http://www.nihon-loreal.co.jp> をご参照）

#### ■物質科学

高峰愛子（タカミネ・アイコ）（27歳）東京大学大学院 総合文化研究科 広域科学専攻  
研究分野：原子核物理・原子物理  
研究内容：高周波イオンガイドの開発—不安定原子核の陽子・中性子分布測定に向けて

#### ■生命科学

佐々木真理（ササキ・マリ）（27歳）総合研究大学院大学 生命科学研究科 生理科学専攻  
研究分野：膜電位感受性タンパク質、イオンチャネル  
研究内容：新規膜電位感受性タンパク質 VSOP の生理機能の解明

野中美応（ノナカ・ミオ）（26歳）京都大学大学院 理学研究科 生物科学専攻  
研究分野：神経科学  
研究内容：神経のシナプスの成熟を調節するメカニズムの解明

企業の社会的責任（CSR）活動として推進

日本は、国際的に見ても特に、研究者に占める女性の割合が少なく、過去5年間の伸び率も、わずか1%増にとどまっています。ロレアルグループは、科学の発展に寄与することを目指し、研究

活動を最重要視し、女性研究者を積極的に登用しています。当社は、同賞が科学を志す若い女性にとって励みとなり、活躍の場を広げる一助となる

よう、本プロジェクトを企業の社会的責任（CSR）の最優先課題に位置づけ、長期的視野に立って推進していく考えです。

## 2007年度 第2回「ロレアル-ユネスコ女性科学者 日本奨励賞」募集について —受賞枠をさらに拡大—

2007年度 第2回「ロレアル-ユネスコ女性科学者 日本奨励賞」の募集は、2006年11月1日（水）～2007年2月16日（金）までとなります。対象者は、物質科学、生命科学の分野で、博士課程（後期課程）または、博士課程に進学する予定の女性研究者です。

なお、第2回から、より多くの若手女性研究者を支援することを目指し、奨学金授与件数を各分野から2名、計4名に拡大します。2007年7月、

都内にて開催予定の授賞式において受賞者にそれぞれ賞状と奨学金100万円を贈呈します。

<お問い合わせ先>

「ロレアル-ユネスコ女性科学者 日本奨励賞」事務局

日本ロレアル 内

コーポレート・コミュニケーション本部

e-mail：fwis-japanfellowships@jp.loreal.com